



角 笛 会 会 報

ホームページ: <http://www.tsunobue.org/>

発行所

日本大学生物資源科学部
校友会 角笛会

〒252-0880

藤沢市亀井野1866

0466-84-3634



巻頭のご挨拶

角笛会会長 鳥海 弘 (昭和50年卒)

角笛会会員の皆様方にはご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

新型コロナウイルス感染症も5月8日に第5類感染症へと変更され、社会活動も国は「Postコロナ」から「Withコロナ」へと舵を切り、社会では新しい生活様式が定着しつつありますが、令和4年度も、まさに新

型コロナウイルス感染症の影響を受けた1年でした。

角笛会報も第39号を発刊するに至りました。昨年秋に38号を発刊してから早や1年が過ぎました。しかしながら本会活動は、第35号が発刊された2019年11月以降、思うような活動ができず停滞してしまいました。ようやく社会生活の変化により3月には137名への学位記等伝達式に出席し若い年代の卒業生に校友会や獣医師会について話をする機会を得ました。また4月には開講式が対面で開催され出席をさせて頂きました。

今まではコロナ禍の影響で、Webを利用した会議や書面での理事会等が主流でしたが、本年度は対面での常任幹事会を開催することが出来ました。

この4年間、新型コロナウイルス感染症の影響で書面議決での総会の開催となっておりましたが、7月1日に日本大学獣医学会との共催で、久しぶりに、多くの会員の出席の下、定期総会を開催することが出来ました。総会では報告事項3件と5つの協議事項の議案を上程し、すべてを承認いただきました。また角笛会に対する功績により表彰をお受けにられました会員の先生方には衷心よりお慶びと感謝の意を述べさせていただきます。以前開催しておりました学生向けの動物病院就職説明会は、今回は中止となりました。例年、角笛会総会と日本大学獣医学会が同日開催の恒例となっておりますが、本質は別組織です。本来であれば両者が一つの大きな組織となり拡充させることができれば、さらに充実した活動が出来るのではないかと考える次第です。

また延期となっていた第19回日本大学医療系同窓・校友学術講演会が久しぶりに、11月25日(土)に市ヶ谷の日本大学会館にて開催され、講演会テーマは「日大医療人の実力一輝く同窓生一」となっており、角笛会からは丸山総一学部長に講演をいただくことになっております。総合大学である本学の医療系の同窓が集まり共通のテーマを追求することは非常に素晴らしいことであり、総合大学である本学であればこそ出来ることです。

現在、全国には約7,000名の角笛会会員が在籍していると推測されており、多くの会員が各分野でご活躍いただいております。角笛会は本部と都道府県毎に支部があり、本部は準会員支援事業の他にも幅広い活動をしております。毎年会報を発刊し大学の近況、全国の校友の動向、クラス会等の情報を発信しております。会員からの情報は本会HPを通してお知らせしています。ご要望があれば本部にご連絡ください。名簿の維持管理の目的で角笛会同期会開催に際し、同期会名簿の提出をもって1万円の補助をすることになっておりますので積極的に利用してください。

昨年11月11日(金)~13日(日)に福岡(ヒルトン福岡シーホーク)にてFAVA 21th大会並びに日本獣医師会獣医学術学会年次大会が開催されました。初日に「ソラリア西鉄ホテル福岡」を会場として角笛会の交流会「大角笛会」には酒井健夫学長、丸山総一学部長、藏内勇夫日本獣医師会会長はじめ多くの先生方の参加をいただきまして盛大に開催できましたことに大変感謝を申し上げます。設営を頂きました福岡県支部には大変感謝申し上げます。

今春からの本学部の学科再編により生物資源科学部校友会の分会も再編されましたが、本角笛会は長い歴史のまま継続されます。角笛会は単なる校友会ではなく獣医師として社会貢献する場でもあります。本学獣医学科の卒業生は誰もが角笛会会員であります。現在、角笛会で活動されていない卒業生の皆様には世代を越えて校友と触れ合い、社会貢献する活動や次世代を担う在校生との交流を共に致しませんか。本学の獣医学科から獣医学部への移行のためにも、特に若い世代の卒業生が角笛会の一員として活動され、組織の活性化を図っていただくことをお願いすると共に、心より皆様の参加をお待ちしております。

結びとなりますが、角笛会会員の先生方のご多幸とご健勝を祈念いたしまして巻頭の挨拶といたします。



ご 挨 拶

獣医学科主任 森友忠昭 (昭和61年卒)

学科主任を拝命いたしております61年卒の森友です。会長の鳥海弘先生を始め角笛会の先生方には、日頃より獣医学科の学生教育、研究活動にご支援とご協力を賜り、誠にありがたく存じております。学科教員を代表して厚くお礼を申し上げます。

さて、当獣医学科は2023年3月に137名の卒業生を送り出しました。そのうちの132名が獣医師国家試験に臨み、115名が合格し、合格率は87.1%と全国平均81.1%を大きく上回りました。本年も多くの獣医師を社会に送り出し、新卒生は既にそれぞれの就職先で活躍を始めております。

また、4月には134(男49、女85)名の新入生を迎え、現在の在籍者数は777(男329、女448)名となりました。さらに、姉妹学科である獣医保健看護学科には今年4月に84(男12名、女72名)名の最初の新入生を迎えることができました。

今年3月に、獣医解剖学研究室の高橋直紀助教、獣医学科事務室の森田真衣実習助手、6月に実験動物学研究室の佐藤雪太教授が退職されました。一方で、今年4月には、獣医生理学研究室に中山駿矢助教、獣医保健看護学科に小澤真希子専任講師、獣医/看護学科事務室には栗林真珠美実習助手をお迎えしました。また、実験動物学研究室の越後谷裕介先生、魚病/比較免疫学研究室の片倉文彦先生が准教授に、獣医微生物学研究室の木庭隼達先生、医動物学研究室の増田絢先生が専任講師にそれぞれ昇格されました。

生物資源科学部においては受験者数が暫減する中、令和5年度から、既存の多くの学科が廃止され、新たな学科が新設されました(詳しくは生物資源科学部ホームページをご覧ください)。今回の改組において、獣医学科の枠組みは変更ありませんが、姉妹学科とも言える獣医保健看護学科が新設されました。この学科は、国家資格となる愛玩動物看護師の取得を目的としたものですが、獣医学科の教員の多くが獣医保健看護学科の教育にも携ることになります。今後、獣医学科としても学部改革に積極的に関与することはもちろんですが、“資格取得を目的とした6年生教育を行う学科”としての立場も理解していただかねばと思っております。

今回は、大学や獣医学教育の近況についてご紹介を致しましたが、何事においても、当獣医学科の教員だけで成し遂げることはできません。角笛会の先生方との交流を深め、折に触れご意見を頂戴し、それらを生かしながら、酒井健夫学長、丸山総一学部長の下、教員一丸となって、よりよい教育・研究の環境作りを推進致したいと思います。

角笛会の皆様には一層のご支援、ご協力をお願い申し上げますと共にご健勝を祈念申し上げ、ご挨拶と致します。

令和5年度 角笛会総会・ 第58回日本大学獣医学会 合同開催

事務局 大野 真美子(平成20年卒)

令和5年7月1日(土)、日本大学生物資源科学部1号館123講義室において、令和5年度角笛会総会および第58回日本大学獣医学会が開催されました。日本大学獣医学会は渋谷久学会会長のもと、6題の一般公演と獣医/獣医保健看護学科の教員2名(小澤真希子先生、堀北哲也先生)による教育講演「再開の一步ーコロナ禍を乗り越えてー」が行われました。

角笛会総会では鳥海弘会長(昭和50年卒)から挨拶があり、総会は山谷吉樹議長の進行で審議が行われ、令和4年度事業活動および会計収支報告、令和5年度事業計画および予算案等が審議されました。角笛会の発展に貢献した角笛会功労者として、鎌田寛氏(本部)、鈴木功治氏(栃木県)、郷野栞氏(東京角笛会)、井上暉英氏(静岡県)、澤田幹夫氏(岐阜県)、新里康彦氏(沖縄角笛会)の6名、角笛会特別功労者として大久保忠宣氏(東京角笛会)の1名に賞状と記念品が授与されました。



【第 58 回 日本大学獣医学会プログラム】

会 長： 渋谷 久

教育講演：再開の一步 - コロナ禍を乗り越えて -

座長： 枝村一弥 (獣医外科学)

1. 「犬と猫の認知機能不全症候群 ~ 行動診療科における対応 ~」

小澤真希子 (獣医放射線学)

2. 「獣医療におけるノンテクニカルスキルとその教育」

堀北哲也 (獣医産業動物臨床学)

一般講演 (口頭発表)

座長 小熊圭祐 (獣医伝染病学)

1. 「ギンブナ感作白血球による抗原特異的なサイトカインの産生」

○武田真治、小柳恵美、億 大智、金子綾音、上原 怜、片倉文彦、森友忠昭 (魚病/比較免疫学)

2. 「マウスクッパー細胞亜集団における TRP チャンネル遺伝子の発現解析」

中山玲奈、○山口卓哉、山崎 純 (獣医薬理学)

座長： 山口 卓哉 (獣医薬理学)

3. 「イルカ腎臓由来新規細胞株の樹立とウイルス学研究への展望」

○田代 楓¹⁾、瀬川太雄¹⁾、鈴木美和²⁾、伊藤琢也¹⁾

(¹⁾ 獣医衛生学、²⁾ 海洋海洋生物学科海洋生物生理学)

4. 「臨床グレードの猫の人工多能性幹細胞の作製」

○山崎敦史、幸繁優子、衛藤妃奈野、種子島貢司、枝村一弥 (獣医外科学)

座長： 橋本 統 (獣医毒性学)

5. 「犬の全身性プロトテカ症の病理学的検索」

○池田光宏、近藤広孝、渋谷 久 (獣医病理学)

6. 剖検症例から見たヨツユビハリネズミ (Atelerix albiventris) における好発病変の解明

○槇島理紗、近藤広孝、渋谷 久 (獣医病理学)

総会資料

令和 4 年度 一般会計収支決算報告書

(令和 4 年 4 月 1 日から令和 5 年 3 月 31 日まで)

収入の部

(単位：円)

科目	予算額	決算額	差異	備考
1. 本部会費	1,200,000	914,890	△ 285,110	各支部より 915 名 × 1,000 円
2. 準会員費	2,400,000	2,349,650	△ 50,350	学部校友会
3. 雑収入	4	0	△ 4	預金利子、その他
4. 前年度繰越額	3,765,056	3,765,056	0	令和 3 年度分
収入合計 (A)	7,365,060	7,029,596	△ 335,464	

支出の部

(単位：円)

科目	予算額	決算額	差異	備考
1. 経常費	2,060,000	1,024,536	1,035,464	
(1) 会合費	10,000	1,950	8,050	会議等
(2) 交際費	300,000	87,401	212,599	支部総会祝い金・慶弔費・謝礼等
(3) 旅費交通費	1,000,000	283,348	716,652	支部総会旅費等
(4) 通信運搬費	50,000	50,895	△ 895	通信料・郵送料
(5) 事務局運営費	700,000	600,942	99,058	給与、消耗品等
2. 会報費	600,000	492,250	107,750	会報 38 号
3. 名簿管理費	200,000	129,713	70,287	業務委託費等
4. 準会員支援費	1,600,000	954,606	645,394	新入生・卒業生記念品・就職説明会等
5. 褒賞費	300,000	15,125	284,875	功労賞
6. 学会補助費	0	0	0	
7. 医療系校友会補助費	130,000	0	130,000	開催中止
8. 組織拡充費	80,000	57,200	22,800	ホームページ管理等
9. 特別会計 I	0	0	0	名簿作成繰入金
10. 特別会計 II	500,000	500,000	0	将来事業繰入金
11. 特別会計 III	0	0	0	角笛会学生支援基金
12. 予備費	1,895,060	0	1,895,060	
支出合計 (B)	7,365,060	3,173,430	4,191,630	

令和 4 年度次期繰越収支差額 (C) = (A) - (B)

3,856,166 円

令和 4 年度 特別会計 I 収支決算報告書【名簿会計】

(令和 4 年 4 月 1 日から令和 5 年 3 月 31 日まで)

収入の部

(単位：円)

科目	予算額	決算額	差異	備考
1. 名簿作成繰入金	0	0	0	一般会計より
2. 雑収入	1	0	△ 1	預金利子等
3. 前年度繰越額	3,047,299	3,047,299	0	
収入合計 (A)	3,047,300	3,047,299	△ 1	

支出の部

(単位：円)

科目	予算額	決算額	差異	備考
1. 名簿作成積立金	3,047,300	0	3,047,300	
2. 雑支出	0	0	0	郵便口座への振り込み手数料
支出合計 (B)	3,047,300	0	3,047,300	

令和 3 年度次期繰越収支差額 (C) = (A) - (B)

3,047,299 円



令和4年度 特別会計Ⅱ収支決算報告書【将来事業資金】

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

収入の部

(単位：円)

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 決算額, 差異, 備考. Rows include 将来事業繰入金, ANMEC研究助成金, 雑収入, 繰越額, and 収入合計(A).

*今年度は休止

支出の部

(単位：円)

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 決算額, 差異, 備考. Rows include 将来事業積立金, ANMEC研究助成金, 予備費, and 支出合計(B).

*今年度は休止

令和4年度次期繰越収支差額(C) = (A) - (B) 2,555,273円

令和4年度 特別会計Ⅲ収支決算報告書【支援基金】

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

収入の部

(単位：円)

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 決算額, 差異, 備考. Rows include 角笛会学生支援基金, 雑収入, 繰越額, and 収入合計(A).

支出の部

(単位：円)

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 決算額, 差異, 備考. Rows include 角笛会学生支援基金 and 支出合計(B).

(備考：特別会計Ⅲの雑収入は特別会計Ⅱの雑収入内に含まれる。)

令和3年度次期繰越収支差額(C) = (A) - (B) 1,600,000円

令和5年度 一般会計予算

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

収入の部

(単位：円)

Table with 6 columns: 科目, 予算額(B), 前年度予算額(A), 前年度決算額, 前年度予算との比較(A)-(B), 備考. Rows include 本部会費, 準会員費, 雑収入, 前年度繰越額, and 収入合計.

支出の部

(単位：円)

Table with 6 columns: 科目, 予算額(B), 前年度予算額(A), 前年度決算額, 前年度予算との比較(A)-(B), 備考. Rows include 経常費, 会合費, 交際費, 旅費交通費, 通信運搬費, 事務局運営費, 会報費, 名簿管理費, 準会員支援費, 褒賞費, 学会補助費, 医療系校友会補助費, 組織拡充費, 特別会計I, 特別会計II, 特別会計III, 予備費, and 支出合計.

*就職支援活動費を含む

令和5年度 特別会計Ⅰ予算【名簿会計】

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

収入の部

(単位：円)

Table with 6 columns: 科目, 予算額(B), 前年度予算額(A), 前年度決算額, 前年度予算との比較(A)-(B), 備考. Rows include 名簿作成繰入金, 雑収入, 繰越額, and 収入予算合計.

支出の部

(単位：円)

Table with 6 columns: 科目, 予算額(B), 前年度予算額(A), 前年度決算額, 前年度予算との比較(A)-(B), 備考. Rows include 名簿作成積立金, 雑支出, and 支出予算合計.



令和5年度 特別会計Ⅱ予算【将来事業資金】

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

収入の部

(単位：円)

科 目	予算額 (B)	前年度 予算額 (A)	前年度 決算額	前年度予算 との比較 (A)-(B)	備 考
1. 将来事業積立金	400,000	500,000	500,000	△100,000	一般会計より
2. ANMEC 研究助成金*	0	0	0	0	一般会計より
3. 雑収入	727	7	0	720	預金利息等
4. 繰越額	2,055,273	2,055,273	2,055,273	0	
収入予算合計	2,456,000	2,555,280	2,555,273	△ 99,280	

*今年度は休止

支出の部

(単位：円)

科 目	予算額 (B)	前年度 予算額 (A)	前年度 決算額	前年度予算 との比較 (A)-(B)	備 考
1. 将来事業積立金	2,456,000	2,555,280	0	△ 99,280	次回式典及び記念誌作成のための積立
2. ANMEC 研究助成金*	0	0	0	0	
3. 予備費	0	0	0	0	郵便口座への振り込み手数料
支出合計	2,456,000	2,555,280	0	△ 99,280	

*今年度は休止

令和5年度 特別会計Ⅲ予算【支援基金】

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

収入の部

(単位：円)

科 目	予算額 (B)	前年度 予算額 (A)	前年度 決算額	前年度予算 との比較 (A)-(B)	備 考
1. 角笛会学生会支援基金	0	0	0	0	
2. 雑収入	0	0	0	0	
3. 繰越額	1,600,000	1,600,000	1,600,000	0	
収入予算合計	1,600,000	1,600,000	1,600,000	0	

支出の部

(単位：円)

科 目	予算額 (B)	前年度 予算額 (A)	前年度 決算額	前年度予算 との比較 (A)-(B)	備 考
1. 角笛会学生会支援基金	1,600,000	1,600,000	0	0	
支出合計	1,600,000	1,600,000	0	0	

(備考：特別会計Ⅲの雑収入は特別会計Ⅱの雑収入内に含まれる。)

令和5年度 獣医学科 新入生 歓迎研修会

1 年次担任 伊藤 琢也 (平成7年卒)、木庭 隼達 (平成23年卒)

令和5年4月23日(日)に鵜沼海岸にて獣医学科新入生歓迎研修会が開催されました。天候は小雨から晴れに変わり、4月としては気温が高い日となりました。昨年度と同様に、学科内交流を目的とした地引網とジャンケン大会を行いました。まだコロナ禍であったため会食はできませんでしたが、新入生・教員ともに親睦を深めることができ、地引網ではカサゴや豆アジなど多くの魚が捕れました。獣医学科は角笛会の援助を頂き、ジャンケン大会の景品として新江ノ島水族館や金沢動物園の入園券を手配させて頂きました。おかげさまで大盛況のうちに歓迎会を終えることができました。

景品に引き続き、角笛会からはスポーツフェスタ2023の際に新入生が着用する獣医学科オリジナルTシャツの費用に関しても援助を頂きましたため、まずは書中をもちまして御礼を申し上げます。今年度は赤色の布地の胸のあたりに獣医学科(VMD)のロゴがプリントされ、ロゴの中には様々な動物の足跡が入ったデザインとなっていました。このデザインは学生が考案し、コンペによって決定されたものです。スポーツフェスタは昨年度までコロナ禍により開催が見送られてきたため、楽しみにしておりましたが、今年度はあいにくの天候とより中止となってしまいました。このTシャツを身にまとうことはできませんでしたが、一体感を持ち続けて6年間を過ごして欲しいと切に願います。



新入生歓迎研修会(地引網)



新入生歓迎研修会(左：Tシャツデザイン、右：ロゴデザイン)

◆◆◆◆◆ 令和5年度日本大学動物病院(ANMEC)便り ◆◆◆◆◆

動物病院長 中山 智 宏

角笛会会員の先生方におかれましては、平素よりANMECの運営にご理解とご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。

ANMECの近況につきまして、はじめに今年度の臨床系教員人事からご報告いたします。今年度実施された大規模な学部改組により獣医保健看護学科(定員80名)が設置されました。この学科へ私を含め獣医学科教員7名が異動しました(伊藤大介教授、坂井 学教授、住吉俊亮准教授、丸山治彦准教授、阪本裕美専任講師、手島健次専任講師)。この7名は獣医学科の教育研究を兼任し、ANMECでの診療もこれまで通り継続することから、異動にともなう診療上の変更はございません。また、獣医保健看護学科の採用人事として、小澤真希子専任講師(東京大学平成18年卒業)が着任し、ANMECで行動診療科が立ち上げられました。行動診療科は新たな診療科ですので、先生方におかれまして、これからの発展のためご協力いただけましたら幸いです。有給研修医につきましては、新規に2名を採用しました。その結果、有給研修医数は15名となりました(2年目4名、3年目3名、4年目6名)。有給研修医数はやや減少しましたが、動物病院スタッフ一同、良い診療を通じて飼い主さんや先生方になお一層、満足していただけるような動物病院作りに努めていきますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

次に病院設備につきましては、8月に放射線治療装置(LINAC)が最新鋭の機種(エレクタ社製Versa HD)に更新されました(写真1)。更新工事が今年1月から7か月間という長期であったため、先生方には大変ご迷惑をお掛けしました。新機種は強度変調放射線治療(IMRT)、強度変調回転照射法(VMAT)などの最先端の治療機能を有します。さらに、コーンビームCTと6軸可動の寝台を組み合わせることで、非常に高い精度を確保した治療が可能です。このように高い治療性能に加えて、旧機種と比較して、放射線障害も低く抑えることが出来ますので、これからの診療にご期待ください。

8月にANMECはアメリカ動物病院協会(American Animal Hospital Association, AAHA)による国際認証を取得しました。認証取得には900項目以上の審査基準において一定条件を満たす必要があり、特に北米外にある獣医科大学として、ANMECは初めて認証を受けた附属動物診療施設となります。9月に開催されるAAHAカンファレンス(サンジェゴ)で、認証授与式が予定されています。写真2は、8月8日から2日間、AAHAスタッフによるANMECの現地調査後に行われた認証内定式のもの。

末筆であります。AMECスタッフ一同、先生方の見学を歓迎しています。お近くにお越しの際には、是非、ご連絡ください。



写真1 放射線治療装置(LINAC)



写真2 AAHAによる国際認証内定式

動物医科学研究センターセミナー開催報告

動物医科学研究センターセミナー開催(第164回～第168回)

第164回 (R4.11.8)

演題:「養殖貝類の感染症問題」

伊藤直樹先生

(東京大学大学院農学生命科学研究科 水圏生物科学専攻 魚病学研究室)

第165回 (R4.12.13)

演題:「生体内合成化学治療」

田中克典先生

(東京工業大学、理化学研究所 田中生体機能合成化学研究室)

第166回 (R5.5.16)

演題:「実験動物のホームドクター ー病気を診ずして動物を診よー」

小泉 誠先生

(東京慈恵会医科大学 総合医科学研究センター 実験動物研究施設)

第167回 (R5.6.20)

演題:「ヒトの感染症を模倣するマウスモデルの開発」

中山絵里先生

(国立感染症研究所ウイルス第一部 主任研究官)

第168回 (R5.7.18)

演題:「組織工学から見た再生医療の最前線 ー細胞能力を高める医療の実現ー」

田畑泰彦先生

(京都大学医生物学研究所 生体材料学分野)

第19回 日本大学医療系 同窓・校友学術講演会

- 1.日 時：2023年11月25日(土) 13:30～
2.場 所：日本大学会館大講堂(地図参照)
〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24
JR市ヶ谷駅下車 徒歩3分
都営地下鉄新宿線・東京メトロ有楽町線
東京メトロ南北線 各市ヶ谷駅 A2出口 徒歩2分
- 3.テ ー マ：日大医療人の実力-輝く同窓生-
4.受 講 費：1,000円
5.公開講座 (一般の方も入場できます：無料)



● 公開講座 ●

- **血液凝固第Ⅸ因子の新しい機能と臨床応用**
 演者：北野 尚孝 (きたの ひさたか) (医学部耳鼻咽喉頭頸部外科学系歯科口腔外科学分野 診療教授)
 座長：遠藤みちる (えんどう みちる) (歯学部同窓会学術委員会 副委員長)
 《歯学部同窓会》
- **胸部大動脈低侵襲手術の開発とその背景**
 演者：秦 光賢 (はた みつまさ) (松戸歯学部付属病院心臓血管外科 教授/
 医学部同窓会 渉外担当理事)
 座長：平山 晃康 (ひらやま てるやす) (松戸歯学部付属病院痛み医科 教授/医学部同窓会 参与)
 《医学部同窓会》
- **東京都における危険ドラッグ等の試験検査について**
 演者：中嶋 順一 (なかじま じゅんいち) (東京都健康安全研究センター薬事環境科学部 副参事研究員)
 座長：岸川 幸生 (きしかわ ゆきなが) (薬学部医療薬学研究室 教授)
 《薬学部校友会》
- **One Healthと人獣共通感染症の制御**
 演者：丸山 総一 (まるやま そういち) (生物資源科学部長/
 生物資源科学部獣医学科獣医公衆衛生学研究室 教授)
 座長：森友 忠昭 (もりとも ただあき) (獣医学科 主任/生物資源科学部獣医学科比較免疫学研究室 教授)
 《生物資源科学部獣医学科校友会 角笛会》
- **専門の道を進む先にあるもの -メディアへの露出を通じて考える-**
 演者：小見山 道 (こみやま おさむ) (松戸歯学部クラウンブリッジ補綴学 教授)
 座長：北原 信也 (きたはら のぶや) (松戸歯学部同窓会学術委員会 委員長)
 《松戸歯学部同窓会》
- **総合討論**

各専門領域で認定される研修名と単位一共催：日本大学医師会 (日本医師会生涯教育制度の単位認定)、日本獣医師会獣医師生涯研修プログラム2単位認定、日本歯科医師会生涯研修事業認定研修会5単位認定 (日本歯科医師会ホームページ <http://www.jda.or.jp>)

《当番学部・お問合せ先》

日本大学松戸歯学部同窓会

〒271-8587 千葉県松戸市栄町西2-870-1 Tel:047-366-2834 Fax:047-362-7272

獣医学科の近況

【獣医師国家試験】

第74回獣医師国家試験が令和5年2月14日、2月15日にTOC有明にて行われました。日本大学獣医学科から132名が受験し、115名が合格しました。合格率は87.1%(全国平均81.1%)で、私立大学の中で第1位でした。

【表彰、受賞】

令和4年度の卒業生のうち、優等賞が伊藤菜々美さん、学部長賞が庄司友梨菜さん、寺内友基さん、日本獣医師会長賞が杉山岳さん、角笛会長賞が武井理菜さん、大我唯瑠さんにそれぞれ授与されました。

【博士(獣医学)の学位取得者】

令和4年度課程博士：原洋平氏、大島綾華氏、諏訪部陽子氏、寺井和幸氏、海老沢和莊氏、櫻井尚輝氏、鄭傑仁氏、中澤慈氏

【退職】

本年3月をもって高橋直紀助教(獣医解剖研究室)、森田真衣さん(獣医学科事務室)、6月をもって佐藤雪太教授(実験動物学研究室)が退職されました。

【人事・昇格】

越後谷裕介先生(実験動物学研究室)、片倉文彦先生(魚病/比較免疫学研究室)が准教授に、木庭獺達先生(獣医微生物学研究室)、増田絢先生(医動物学研究室)が専任講師に昇格されました。

【新任】

本年4月に中山駿矢助教(獣医生理学研究室)、栗林真珠美さん(獣医/保健看護学科事務室)、川口真理さん(獣医/保健看護学科事務室)が採用されました。

■ 新任の先生の自己紹介



(獣医生理学研究室)
中山駿矢助教

本年4月より獣医生理学研究室に助教として着任いたしました中山駿矢(しゅんや)と申します。本学獣医学科を2013年度に卒業し、臨床獣医師として東京都内の動物病院にて2年間勤務の後、本学大学院獣医学研究科を修了、博士(獣医学)を取得しました。大学院在学時は主に非ヒト霊長類を用いた循環器生理学・病態生理学を中心に心筋症や心筋炎の研究を行ってまいりました。その後、ポスドクとして免疫学の権威である本庶佑先生の愛弟子で東海大学医学部血液内科の医師も務められる幸谷愛教授の下で血液腫瘍学ならびに細胞外微粒子(エクソソームなど)の免疫メカニズムへの関与といった異分野へと視点を広げてまいりました。現在は循環器疾患と細胞外微粒子の関連性や新規治療標的探索などを視野に研究を広げております。

まだまだ若輩者ではありますが、長い歴史を持つ日大獣医生理学の火を絶やさぬよう、そして少しでも日大獣医の力となれるよう、今後も精進してまいります。どうぞ指導ご鞭撻のほど、よろしく願いいたします。

■ 令和5年度獣医学科入試状況

選抜方法	募集人員	受験者数	合格者数	競争率
A方式(第1期)	47名	798名	151名	5.3倍
A方式(第2期)	10名	350名	10名	35.0倍
N方式第1期	5名	255名	22名	12.0倍
N方式第2期	3名	119名	3名	39.7倍
一般推薦(公募制)	13名	92名	23名	4.0倍
校友子女推薦(公募制)	4名	16名	6名	2.7倍

■ 学年担任(令和5年度)

- 1年次 伊藤琢也教授(獣医衛生学)、木庭獺達専任講師(獣医微生物学)
- 2年次 山崎純教授(獣医薬理学)、片倉文彦准教授(魚病/比較免疫学)
- 3年次 浅野和之教授(獣医外科学)、越後谷裕介准教授(実験動物学)
- 4年次 小川健司教授(獣医伝染病学)、住吉俊亮准教授(獣医臨床繁殖学)
- 5年次 壁谷英則教授(獣医食品衛生学)、岡林 堅准教授(獣医生化学)
- 6年次 堀北哲也教授(獣医産業動物臨床学)、丸山治彦准教授(獣医臨床病理学)

トピックス

津曲茂久先生 日本大学生物資源科学部校友会 表彰

事務局

獣医臨床繁殖学研究室前教授の津曲茂久先生(昭和49年卒)が、令和5年7月8日(土)に開催された日本大学生物資源科学部校友会総会において表彰されました。

津曲先生は、平成20年度から平成25年度まで角笛会選出の生物資源科学部校友会幹事、平成27年度から平成30年度まで生物資源科学部校友会幹事長を務め、生物資源科学部校友会の幹事を通算10年務めました。また、令和4年11月に「牛、豚の生産性向上のための繁殖生理および繁殖障害に関する研究」の業績が極めて優秀と認められたとして、日本獣医師会獣医学術功労賞(産業動物部門)が授与されました。

これらの功績が生物資源科学部校友会に認められ表彰されました。誠におめでとうございます。



津曲茂久先生と鳥海弘学部長

生物資源科学部校友会主催 酒井健夫学長 記念講演

事務局

令和5年7月8日(土)生物資源科学部校友会総会終了後に、生物資源科学部本館14階NUホールAにて、酒井健夫学長(昭和41年卒)の記念講演『「個」の尊重と「全」の創出』が開催されました。参加者77名のうち角笛会からは16名が参加しました。講演内容は、日本大学教学分野の課題への取組み、科学研究費助成事業の採択状況、附属高等学校の進学状況、高大連携教育についてなど日本大学の状況や今後の取組みについて、また、日本大学ホームページに掲載している「学長ブログ」の紹介、講演の最後には本学教員に向けて「求められる教員像」まで約1時間の講演でした。心のこもった酒井学長の講演に参加者も熱心に拝聴していました。



酒井健夫学長 記念講演

「個」の尊重と
「全」の創出

講師

日本大学学長
酒井健夫

日時 2023年7月8日(土) 16:30-17:30

学部校友会総会終了後の開催となります。
聴講は自由です。奮ってご参加ください。

会場 本館NUホールA (本館14階)

お問い合わせ 生物資源科学部校友会事務局 TEL 0466-84-3799

令和4年度 角笛会支部総会・他学科分科会の活動状況と派遣者一覧

R4年8月27日(土)	東北北海道支部(釧路市)	岡 林 堅	11月26日(土)	岐阜県支部(岐阜市)	岡 林 堅
10月2日(日)	埼玉県支部(さいたま市)	丸 山 総 一	R5年1月7日(土)	沖縄角笛会(那覇市)	森 友 忠 昭
11月11日(金)	大角笛会(福岡市)	鳥 海 弘 井 上 亮 一 酒 井 健 夫 学科教員(8名)	(敬称略)		

令和5年度 角笛会支部総会・他学科分科会の活動状況と派遣者一覧

令和5年度も昨年と同様に各支部へ教員を派遣しております(令和5年9月30日現在)。教員の派遣を希望される支部は事務局までご一報ください。

R5年7月23日(日)	新潟県支部(新潟市)	合屋征二郎	9月2日(土)	熊本県支部(熊本市)	岡 林 堅
8月19日(土)	東北北海道支部 (中標津町)	五味浩司	(敬称略)		

角笛会関連記事(支部だより)

■岐阜県支部だより

令和4年11月26日(土)、「うを義」にて開催。

派遣教員：岡林 堅



■沖縄角笛会だより

令和5年1月7日(土)、「沖縄県獣医師会館」にて開催。

派遣教員：森友忠昭



■新潟県支部だより

令和5年7月23日(日)、「新潟・万代シルバーホテル」にて開催。

派遣教員：合屋征二郎



■北海道支部だより

令和5年8月19日(土)、「北海道農業共済組合根室北部支所会議室」にて開催。

派遣教員：五味浩司



■熊本県支部だより

令和5年9月2日(土)、「メルパルク熊本」にて開催。

派遣教員：岡林 堅



角笛会関連記事(同期会だより)

■ 令和4年進勇会(昭和45年卒同期会)開催報告

令和4年11月吉日

立冬が過ぎ、寒さに向かいコロナとインフルの同時流行が危惧されておりますが、皆様にはお元気でお過ごしのことと思います。

令和2・3年とコロナの為に止む無く中止といたしました、皆に会いたい！ 死んじゃうかもしれない！ との声に押しされ3度目の正直でコロナ8波の始まりにもめげず、11月6日に強行いたしました。

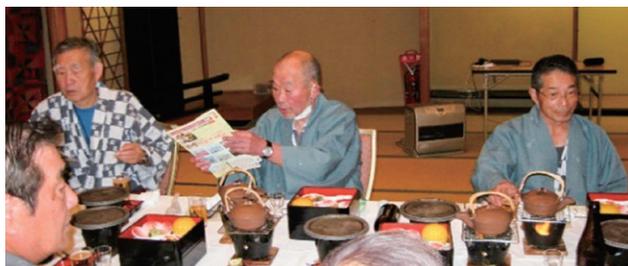
山形県かみのやま温泉「古窯」で17名の参加でした。

現地幹事の新聞君には、旅割補助に必要なコロナワクチン接種証明書の取り纏めなど大変お世話をかけました。感謝です。

卒業以来や3年ぶりの再会があり旧交を温めました。各自の近況報告では、社会参加や趣味など様々に活躍している話を聞き励みになりました。

今年、まだ九州で開催したことがない、全国制覇？ したいとのことで博多付近で計画することになり、現地幹事を安藤光一君にお願いすることとなりました。

大勢の参加をお願いいたします。



同級生の名前判りますか？

名簿管理及び連絡係 411-0031 静岡県三島市幸原町1-6-48 大庭芳和・治美
TEL&FAX 055-986-8031 E-mail アドレス y.ohba2326@sea.plala.or.jp
携帯 090-5858-2005 メール ohbahana2005@docomo.ne.jp

事務局よりお願い

「支部だより」「同期会だより」を充実させるため、総会・懇親会で撮影した写真と文章をお送りください。各支部の様子を写真付きで紹介させていただきます。ご協力のほどよろしく申し上げます。

支部総会に現役教員を派遣します。ご要望がありましたら、事務局までご相談ください。

角笛会関連記事(校友だより)

■馬と徳川八代將軍吉宗

青木蓉冶(昭和36年卒)

1957年(昭和32)世田谷区「三軒茶屋」の講堂(木造2階)こげ茶色の年代を経た3人掛け長机に2人が並び獣医学科の入学受験に挑戦しました。4年間、多くの学友、先輩の指導で今日に至っています。受験出題教科は、国語(茶道の侘び寂び)・生物・英語、受験前日に英文和訳を予測して「馬の歴史」を読みました。

「予想は大当たり、驚きを覚えています」

※「思い出の問題英訳文例」(現 危機管理学部所在)

「馬は約5200万年前に北アメリカ大陸で生活していた、体はキツネと同じくらいで走る能力に優れていた」

「Horses lived in North America about 52 million years ago. The body was the same size as a fox and had excellent running ability」

1; うま

馬は品種や体格等により、競走用、乗馬用あるいは肥育用等の様々な目的で飼養されて、特に馬を家畜として育て農耕や運搬、人々の生活を深く支えてきていましたが、1953年(昭和28)代のガソリン耕運機やトラック活用に始まり、馬は動物園や競馬場、馬生産牧場で目にする場面に限られ、一般社会から馬の姿、馬と生きた記憶は、忘れられつつあります。

2; 馬の絵

フランス南西部のラスコー洞窟の壁に、狩りの対象で疾走する馬のたてがみ、長い尻尾、馬の特徴である単蹄を木炭と獣脂で写実的に描かれている馬や牛・鹿など歴史画で見られます。

この壁画を描いた人物は、クロマニヨン人(Cro-Magnon man)とされ、約4万~1万年前の後期石器時代に遡る人物で、南フランスの鉄道工事中に5体発見の人類化石の名称になっています。

わが国では、馬の蹄を守るため稲藁(いなわら)の馬沓(うまぐつ)を履く、蹄を視点に描く浮世絵師の歌川広重「名所江戸百景」登場の甲州街道「四谷内藤新宿」で賑わう宿場絵に、ユーモラスな絵があります。「ちなみに牛車を曳く牛は牛沓を履いています。」

金属性の蹄鉄を付着は、明治23年代から始まっています、軍馬や荷役馬は、馬小屋の寝藁が尿により微生物増殖で生じたアンモニアの加水分解で、蹄組織のケラチン(皮膚上皮や毛と同様にタンパク質)が弱められる防止のために行われています。

「1945年6月、米軍の無差別焼夷弾で、岡山市内は焦土。小学1年坊主は稲藁草履で通学をしました。」

3; 競走馬と在来馬

(1) 競走馬

活躍するサラブレッドは、アラブ種やイギリスのハンター種の改良品種、祖先を辿っていくと、必ず「バイアリー・ターク」「ダーレイ・アラビアン」「ゴドルフィン・アラビアン」いずれか3頭のDNDに由来すると、資料にみられます。

馬の平均寿命は20~30歳といわれるが、競争馬は速く走ることを目的に改良・飼育されて4~5歳で引退を迎え、登録抹消馬の【受け皿】もなく、余命を全うできる馬は決して多くないのが実態としてあり、種馬にされても、死ぬまで種馬で遺伝子を残す馬は少ない。

多くの廃馬は郷土名物の食用や加工食品、又は犬猫飼育動物の餌と流通システムに見られます。このシステムが無くなると困る企業も多く、このような話をすると、動物愛護の問題にされますが、獣医師の認識が必要と確信します。「獣医師は生殺与奪の使命と役割を課せられています。」

2022年(令和3)農林水産省統計資料では、表のとおりです。

○馬の総飼養頭数は、近年横ばいで推移	約73,271頭(100%)
○競走用に利用の軽種馬は、	47,041頭(約64%)
○軽種馬のうち競走用登録馬	21,543頭(約29%)

注：競争馬の廃馬は食肉に数字が？

(2) 在来馬の先祖は

古墳時代に朝鮮半島から持ち込まれた蒙古馬系で、特徴は山岳歩行に適している丈夫な骨格を持ち、蹄は硬く、粗食に耐え、体高(地面から肩のあたりまで)約120~140 cm程度「100~120 cm」の小型馬です。

合戦物語『平家物語』に登場する源義経の「青海波」は4尺7寸(1尺≒33 cm)、『源平盛衰記』の鴨越(ひよどりごえ)坂

落し登場の畠山重忠の愛馬「三日月」4尺7寸、この馬の前脚を背負って坂を降りていますし、佐々木高綱の愛馬「生唆」（いけづき）は4尺8寸余で大馬との記述があります。

『続日本紀』721年（養老5）3月9日条、馬の所有数に関する記述に「五位の者は4匹、六位以下庶民までは3匹」とあり、一般武士は3匹が限度であり、源義経の乗りかえ馬が4匹なのは、義経が五位と高位ためです。

なぜ、馬の所有数が定められているのか、その根拠は、『続日本紀』739年（天平11）4月14日条、「天下諸国に、駄馬（荷を運ぶ馬）1匹が背に負う荷物の重さは、120 kgを改め、90 kgを限度にすると布令で決めています」

仮に、全武装が30kgで、武人自体の体重が60 kgとしても、計90 kgでギリギリ馬の体力が持ちこたえられるのに、その馬に鉄砲玉を防ぐのに馬鎧まで着用した場合、全力で走らせることは困難でとなります。そのため、戦場で替え馬の頭数が必然的に定められています。

1953年に鎌倉市材木座の発掘では、鎌倉時代末の1333年、新田義貞の鎌倉攻めで戦没馬の馬骨128頭「体高109～140 cm」、平均129 cmと計測され、競走馬「サラブレッド種で体高約160～170 cm、アラブ種の体高は約150 cm」、合戦物語登場の馬は147 cm以下なので、ポニー種の基準に該当するように思いますが……

しかし、合戦絵巻や、浮世絵、油絵洋画に登場の馬は例外なく、実物よりも大きく、躍動美にあふれ、馬に対する作者の願望を見事に描いていると、思います。

（3）今日、生存する、在来馬は8種類（以下表に記載）、過去は南部馬、三春駒、三河馬、甲斐馬の9種類が存在したと、「2022年農林水産省」の資料にあります。

在来和種馬の名称	主な産地	計1,654頭
1 北海道和種（どさんこ）	北海道	1,087
2 木曾馬（きそうま）	長野県	133
3 野間馬（のまうま）	愛媛県今治市	48
4 対州馬（たいしゅうば）	長崎県対馬	45
5 御崎馬（みさきうま） 放牧	宮崎県都井岬	98
6 トカラ馬 放牧	鹿児島県吐噶喇列島	85
7 宮古馬（みやこうま）	沖縄県宮古島	48
8 与那国馬（よなぐにうま） 放牧	沖縄県与那国島	110

4；なぜ、吉宗は大型馬を求めたのか

長い年月に及び朝廷や貴族は、競馬（きそいうま）・打毬（英国ポロ競技類似）遊戯に使用する要求で、幕府は馬の献上を行っています。

これが原因で、幕府の千葉県内の小金牧や佐倉牧・峰岡牧に残っている、多くの馬体高は四尺程度（≒1.30 cm）と小型化になりました。

吉宗は、家臣の儒学者「近藤寿俊（こんどうひさとし・1704～84）」に対して「厩の徒をして越谷の駅におもむかしめ馬力を試みられる、朝鮮あるいは唐産（中国）の馬に乗りし者いちはやく帰りしかば、吹上の御園にて、その馬を御覧せる」1720年（享保5・4月）との記述があります。

吉宗は、南部名馬産地の相馬藩に「近藤寿俊」を派遣し、オランダ輸入大型馬の飼育・調教方法を学ばせるため、馬の選定作業や、大きな物音・大きな物体に驚かない訓練・打毬・早懸け・流鏑馬などの調教・治療方法の調査を指示しています。

相馬藩は幕府直轄領で福島県北方（伊達郡）と南方（白河郡）で、相馬市から南相馬市双葉郡浪江町の一帯が名馬産地で、この地の馬を仕入れ嶺岡牧場（酪農発祥の地）で飼育したようです。

現在、甲冑に身をかためた約400騎の騎馬武者が、腰に太刀、背に旗指物をつけて野原を疾走する、力強勇壮な様は時代絵巻さながら伝説によれば、相馬野馬追は今から一千年以上もの昔、相馬氏の遠祖とされる平将門が下総国小金ヶ原（現在の千葉県北西部）に放した野馬を敵兵に見立てて軍事演習にしたことに始まったと伝えられて、国の重要無形民俗文化財に指定されています。

5；オランダに大馬を要求

ポルトガルと断交した後に、わが国の交易はオランダ東インド会社の帆船（全長約44 m）、年1回2隻の交易に限り、後に4年1回の来航を許し、来航時は商館長、書記、医師3名と武士150名随行で、江戸に3か月かけて、幕府将軍に交易謝礼の参府が、慣習になっています。

1721年参府で商館長の甲比丹（カピタン）・デオダチ（Diodati）は、「馬具一具」と「塩漬肉1貫目（3.75 kg）、ハム600匁（1匁＝3.75 g）」を献上の際、

吉宗は、甲比丹に【本国は大馬ありや】【鉄砲・兜】【これを我が国に牽き渡ること出来ずや】と求めています。しかし、甲比丹は『馬は遠いので無理』と応えています。

吉宗は要求に応えた際は、褒美として、1715年（正徳5）時の貿易代金「銀3,400貫、銅50万斤に削減」の代金を「銀

800貫」に増額すると応じています。

1723年(享保8年)吉宗の馬5頭(牡3・牝2)要求に対して、商館長は、馬乗船のため、通常2隻に1隻を増し3隻で来航を認めさせましたが、翌年の享保9年、船の難破で、馬注文の約束は守られていません。(長崎実記年代録)

当時、我が国の輸入品は、中国産の生糸・絹織物・砂糖・香木・胡椒・鮫皮・薬品などで品目や数量、価格は幕府(長崎奉行)が厳重な統制を行い、わが国初期の輸出品は銀でした。

輸入代品の見返りに「銀」を用いたのは、中国や東南アジアは「金」より「銀」を使用していたためです。銀の産出は、石見銀山(島根県大田市在)戦国時代の後期から江戸時代前期にかけて最盛期を迎え、日本最大の鉱山で2007年に世界遺産に登録されています。

この鉱山から産出される「銀」が明(中国)、16世紀以降に来航するようになったポルトガル、オランダなどとの間の交易で大量に銀が持ち出されたため、668年以降、銀産出や通貨銀の不足で、銀輸出を禁止して、この代替で金小判(1763年輸出禁止)にしています。

のちに銅(棹銅)・錫・硫黄(火薬材料)・陶磁器・漆器など工芸品を代替品にしていますが、特にオランダは加工された棹銅を要求し、江戸参府の帰途には必ず、大阪の銅精錬所の見学を恒例にし、我が国の銅精錬技術の知識を持ち帰っています。

わが国で生産する銀や銅の半分以上が輸出され、銀・銅の国内需要も高まり、生産量も頭打ちとなり、輸出量の抑制で、1743年に幕府は、貿易総量を銀550貫目に減らし、銅持ち出し量の上限も100万斤(1斤≒616g)から50万斤に半減しました。

6；去勢の必要性

記録にみる、家畜去勢の歴史は、大陸の遊牧民では馬数の調整と繁殖用の馬を除き、その他を去勢しています。

去勢の理由と効果は、雄馬の容易な管理と、優性能力品種の保存を可能とするため、特に軍馬の凶暴抑制と、敵に奪われても繁殖に使えなく、雌馬発情期に興奮させないなどの理由で行われています。用語で去勢された雄馬を「騾馬(せんば)」と称します。

3400年前の古代シュメールの粘土板に牛の去勢の記録があり、旧約聖書やギリシャ哲学者アリストテレスの『動物誌』にも家畜去勢の記述があり、中国最古の漢字である甲骨に豚の去勢を示す文字に周の官制の『周礼』に去勢記述や、秦の始皇帝陵の兵馬俑坑の多くが去勢馬で見られます。

わが国は、江戸初期の1656年に川越城の厩で人に噛みつき、踏みつけにする悪馬4頭に去勢を実施し、その後、馬がおとなしくなったと町名主『榎本彌左衛門覚書』に、1809年頃に仙台藩で、幕末期の1855年の佐倉(千葉県)で荒馬1頭を去勢し、その効果を認めたとありますが、これらは特殊な例で、なぜ、わが国で去勢が遅れたかの記録では、馬医者が去勢施術を行うと、廃馬や斃死の事例が多くみられる理由で、明治時代まで去勢の習慣がなく、家畜管理や品種改良の知識が、今日と異なり不足していたためと推察できます。

なお、在来馬に関して、幕末期に来日の駐日ドイツ公使オイレンブルグや、米国の採鉱冶金学者パンベリー・英国駐日公使オールコック・ドイツの考古学者シュリーマン等は、日本の馬は小さく体格が悪く貧弱なのに、直ぐに蹴飛ばしたり、噛みついたり、乗馬しても振り落とすと、粗暴さや悪癖に悩まされたようです。小柄な馬が暴れることは、調教法の問題もありますが、去勢を行う習慣のないことが原因といえます。

去勢を明治時代に陸軍の軍馬に施術を積極的に実施するきっかけは「日清戦争」(1894~95年=明治27~28年、清(中国))や、1899~1901年、欧米列強の中国進出を排他する民衆運動「義和団の乱」で、欧米騎兵と日本騎兵との共同作戦のうちに、外国騎兵から日本の馬は「素質獐猛で、雌馬を見ては隊列を乱し、輸送に当たっては兵を傷つけ、猛獣だと酷評を受け、軽蔑嘲笑を受け」このことで、去勢に関する「馬匹去勢法律」施行に基づき、馬の改良と増殖で軍馬や競走馬に貢献しますが、反面、在来馬の雄を去勢することから、西洋種の雄を多く使用した弊害により在来馬の急速な減少と衰退をきたしています。

特に中世以来の名馬産地の南部馬や、他の貴重な馬遺伝資源の絶滅を、レース引退競走馬の限られた種馬による過度の近親交配で、遺伝子の均一化、早産や、発育の低下、感染症に対抗できる馬種を失う事態を招かない対策を講じる必要が……

7；入国馬数と支払い対価

九州地方のキリシタン(カトリック宗派)大名の大友宗麟・有馬晴信・大村純忠によって、初めてヨーロッパに派遣された天正遣欧使節4人少年(伊東マンショ、千々石ミゲル、中浦ジュリアン、原マルチノ)は、1584年8月からポルトガルやスペイン・イタリア各地を1年8カ月に及ぶ訪問で、ローマ法王やスペイン国王の歓迎を受けています。

使節は、アラビア馬1頭と獣医師、調教師、蹄鉄工(装蹄師)同行で帰国した、翌3月に京都聚楽第の豊臣秀吉に拜謁に向かうさい公家の『時慶卿記』、神職の『兼見卿記』では、見物人がアラビア馬の大きさに驚いた話や、「馬の体高5尺(150cm)余」と、在来馬より大馬と、カトリック宗神父フロイスの『日本史』記述では、聚楽第において調馬師の馬術が披露され、秀吉や諸大名は、馬の大きさ、早さや美しさに驚嘆と讚美の声、秀吉は使節団の贈答品のうちで、特にアラビア馬が気に入ったと述べています。

しかし4人の少年は、秀吉の伴天連追放令(1587)の厳しい改宗指示に応じないため、国外「マカオ」に追放の措置をうけています。

時代は変わり、吉宗がオランダ馬を購入する2年前、1723年(享保8年)12月、唐商「郭亨統」の唐船(中国)で、馬3頭

(雄1頭、雌2頭) 入国しました。

「郭亨統」は享保9年に、長崎奉行に馬進上の恩賞で、彼一生の年月は長崎奉行の許可不要で来国可能とする、吉宗信牌1枚が付与されています。

オランダ船は、1275年(享保10年)2隻で馬5頭に始まり、1738年(元文3年)の47頭入国まで、初期支払いは銀2327貫(1貫は現代で約1,250,000円)でしたが、銀の不足で銅(棹銅)5万斤~10万斤で支払っています。

「編纂資料の多くで馬入国数29頭、又は38頭の記録がみられますが、資料記述47頭で記載しました」

8；馬術師と馬來船

吉宗の治世1722年(享保7年)、アラビア馬種注文書に次の記述があります。

一 地より鞍下迄四尺五寸より六寸迄之男馬三疋右同尺之女馬 二疋右御用に候間、可牽渡候。左あるに於いては、為御褒美御定銀高之外に、八百貫目分之臨時商売可差免候間、其積りを以荷物可積来候。尤御定船数之外に、馬船一艘可乗渡候。右寸尺より大長成馬程は宜候。小長成馬は御用に無之候。且又馬数之儀も、余計牽渡候分は不苦候間、才覚相調候は、五六疋より十匹迄は可乗渡候。右之趣ゼネルへ申達、来年入津之時分必可牽渡候。卯(享保八年癸卯)九月斯くてケイツルは、享保十乙巳年六月十三日、馬と共に長崎に来た。(徳富蘇峰の大著『近世日本国民史』)

注：「地より鞍下まで四尺五寸(約135 cm)より六寸(138 cm)までの男馬三匹、右同尺の女馬二匹」と注文の馬は、馬高が「き甲」まで147 cm以下はポニー？ 馬はポニーの可能性がります。

訳：一 体高4尺5寸から6寸(138 cm前後)の牡馬3頭と同じ大きさの牝馬2頭上記の馬が必要ですので注文します。取引後に褒賞として、所定の代金のほか、800貫目分の商売を許可するので、そのつもりで輸入してください。ただし、定められた数の船のほかに、馬を乗せる船を一艘用意してください。注文の体格より大きな馬はよろしいが、小さな馬は無用です。また、馬の数も多いのはかまわないので、工面できるなら、5・6頭から10頭までは輸入可能です。以上の趣旨を長官に伝えますので、来年の入港の際には、必ず引き渡してください。

1725年(享保10)オランダ來船時、馬術師ケイゼルの派遣があります。

馬術師派遣はオランダ側の交易品増加を望む思惑の手段で、幕府は、ケイゼルに15条に及ぶ下問で、雌雄の判別、飼育、乗馬、繁殖、蹄鉄、去勢などで、ケイゼルは11条にまとめて「阿蘭陀人御答=オランダ人間答」で返答しています。

吉宗は、ケイゼルに随伴のヘンドリック・ライクマン(Hendric Raijkman)に吹上馬場で馬乗を命じ、ヘンドリックは馬を乗り回しながらピストル(拳銃)射撃を披露しています。(長崎年代史)

9；外国馬の入国年と種別(計；47頭)「吉宗隠居後の馬輸入記録は不明です。」

吉宗在位の馬入国年	馬 種	頭数(雌雄の別)	銅支払い
1723年(享保 8 年)	ペルシ産	5頭(雄2・雌3)	吉宗に献上
1725年(享保10年)	ペルシ産 ジャワ産	5頭(雄)	5万
1726年(同 11年)	オランダ馬	5頭(雄3・雌2)	6万
1727年(同 12年)	ペルシャ馬	2頭(雄)	5万
1729年(同 14年)	ペルシャ馬	2頭(雄)	5万
1730年(同 15年)	ペルシャ馬	2頭(雄1・雌1)	5万
1734年(同 19年)	ペルシャ馬	6頭(雄)	10万
1735年(同 20年)	ペルシャ馬	2頭(?)	10万(特別)
1736年(元文 元年)	ペルシャ馬	3頭(雄2・雌1)	3万5千
1737年(同 2 年)	ペルシャ馬	2頭(雄)	3万5千
1738年(同 3 年)	ペルシャ馬 アラビア種	5頭(雄5・雌3 3頭)	?

注：1738年(元文3年)に特別褒美5万・甲比丹には別途に銅10万斤を下賜しています。

なお、オランダ馬は北ドイツのOldenburg種？ ペルシャ馬はアラビア種(Arabian)と同種？

10；入国馬のその後

1726年(享保11年)のオランダ産の雄馬1頭を幕府直轄「嶺岡牧場」の繁殖用種馬にしています。

当時、牧場には馬約6,000頭、和牛約120頭が放牧され、1750年に幕府は各藩に種馬で飼育するよう指示して38頭を払い下げています。

払い下げ先の各藩の詳細は不明ですが、そのうちの1頭が青森県三戸郡の住谷野牧で種馬飼育されています。しかし、馬の改良ができないまま、馬は死亡し、馬の墓に「三葉の松」を植え、馬の飼育者の石井玉葉は供養で、馬頭観世音を「唐馬の碑」建立しています。

11；徳川宗家以外から8代将軍職就任の背景は

吉宗は徳川宗家以外から、7代将軍「家継」の後任で、8代将軍職に就任します。

将軍就任の背景は、7代将軍「家継」4歳1713～1716)の幼少で就任、「8歳の夜桜鑑賞で風邪(肺炎?)」が原因で死去。幼い「家継」将軍に後継者がいないため、徳川宗家縁戚の紀州藩主2代「光貞」の4男、吉宗33歳で5代紀州藩主より、幕府8代将軍(在職1716～45)に就任できたのか。なぜ、吉宗が5代紀州藩主の位置に、吉宗3人の兄が原因不明で急死と、家継の死去の偶然で、将軍の誕生に連なっています。

吉宗、就任時の幕府は財政難で、家康没時の遺産現金100万両、現価値の換算で1,000億円以上の遺産金は、徳川三家の尾張・紀伊に30万両、水戸に10万両分け与え、残金は保管金にしたと言われています。

財政難の原因は、家康以降の7代の将軍の浪費使や、明暦の大火(4代家綱の1657(明暦3年))後の米・材木・炭・塩・油など物価高、5代将軍綱吉の寺院造営・修築、中野・四谷・大久保の犬の約8万匹餌代、奥女中奉公人・上級奥女中の個人雇用部屋、約4,000人の化粧代20万両(約20億)出費とされています。

財政再建のため、紀州藩主時代の1日2食の一汁一菜と、質素経験を活かして儉約を発令、自らも率先して生活の簡素化をはかり、幕府の行う寺院の修理・建築を抑制、享保6年には、諸役人給金20分の1上納を命じ、各大名・旗本の生活全般の引き締め併せ、坊主・手代・小役人ら80人、大奥の容姿端麗女性2,700人の削減、幕府全体で質素儉約を徹底させて、町民・農民にも新税を課し、さらに江戸市中贅沢禁止施策実施で財政再建につとめました。

反面、財政再建策の厳しい不満の緩和として、2年事の参勤交代を1年に緩和、新田開発を行い、江戸火災予防の火消47組設置、町民の結核療養施設の小石川養生所開設、政治不満を聴く目安箱設置など改革政策を実行しています。

吉宗62歳の1745年(延享2年)9月、30年間の治世を、長男「家重」に将軍職を譲り、翌年の11月に脳出血で重体、4か月後の延享4年3月床上げの祝いのち、4年後の宝暦元年6月2日に68歳で死去、上野寛永寺墓地に埋葬されています。

12；家康のひ孫「吉宗」(1684～1751)の人物像は

和歌山駅前前の吉宗騎馬姿に見る、吉宗は徳川家康の曾孫になり家康を尊敬しています。

吉宗実像は浅黒く、勇壮で、身長180 cm余「在来馬に跨ると足は地に着きます」

質素儉約、好奇心が強く、性質は柔軟、相撲取りを投げ飛ばすほどの剛力と、逸話が残される一方で吉宗は、蘭学や、殖産興業、国産化奨励、海外の物産に関心を示し、キリスト教禁令の鎖国時代、オランダ・唐(中国)に限り、長崎出島を介して通商を認め「知は力」と西洋書物の輸入を許し、わが国で始めて「青木昆陽＝甘藷栽培法」と「野呂元丈＝薬草学者で吉宗担当医者(御目見医師)」の両人に、オランダ語(蘭学＝らんがく)を習得「蘭学事始」させたことが、のちにドイツ人クルムス『解剖 図譜(Ontleedkundige Tafelen)』を杉田玄白(17331817)「訳本；解体新書」編纂の苦労話にまとめて「和蘭医事問答＝1795年(寛政7年)」発刊が原点となり漢方医学より西洋医学に移行する基礎作りくり吉宗は貢献しています。

12；余談～1 「吉宗に中国人貿易商人が象を贈呈」

1408年(応永15年)、1575年(天3年)に次ぐ、1728年(享保8年)7月19日、中国人貿易商人「鄭大威；てたいい」は、安南国(ベトナム)産の象2頭(雄1雌1)を唐船(一説にオランダ船)で長崎に入港。

象の陸揚げは船から岸壁に板橋かけ、板に土を置き、各象1頭に象使いが添い慎重に上陸させて、唐人屋敷で飼育するなかで、雌象の1頭に菓子を与え過ぎて舌に「できもの」ができ、その治療で、象使いは長崎の豪胆な町人を探し、彼が象の口に手を入れ舌の「できもの」を洗い苦痛が緩和し元気を取り戻したかに見えましたが、のち雌象はほどなく死亡しました。

7歳の雄象は、江戸の将軍吉宗へ献上のため、1729年(享保14年)4月10日14人の飼育人に見守られ、長崎から江戸まで300里の旅路の出発に際し、長崎奉行は街道の諸藩あてに、象の餌の飼料は1日「新藁200斤、笹葉150斤、草100斤、大唐米8升、芭蕉2本、餡無し饅頭50個、橙50個」の供出を命じています。

更に将軍献上用の象のために、道中の取締り厳しく、街道の小石を取り除き、橋を架け換えムシロを敷き、宿舎の整備、象が驚くから鼠の駆除、要所に水桶を置き、人声を出すなど、細かい指示のなか、象は1日に4里～5里と歩き京都に到着、京都浄華院で休息の3日後、京都で中御門天皇と靈元法王は、象に従四位を授けて見物しています。

象の一行は4月29日に京都出発。大井川は筏を組んで渡し、長崎より74日目に江戸到着、浜御殿(JR浜松町駅下車：浜公園)の象舎で1か月余り飼育のち、江戸城内で、吉宗は諸大名と共に象見物を、象は前足を折り、頭上高く鼻を振り上げ挨拶と曲芸を演じて愛嬌を振りまき、一同感嘆の声をあげたそうです。

象飼育で幕府は、象1日に、唐米(とうぐみ・泡盛原料)8升、餡なし饅頭50個、橙(だいたい)50個、新藁200斤、笹

の葉50斤、イタヤカズラ100斤、草1千斤の食料代支出で、幕府は持て余しながらも浜御殿で13年間飼育していましたが、象は次第にやせ衰え、また享保改革の儉約令に反する理由で、中野村(中野区)の村人「源助」に払い下げられています。

源助は象を見せ物に、象のフンを中風の薬と称して、一服16文(1文≒32.5円)で売り、あくどく儲けながら、象の1日の餌代をけちり、1749年(寛延2年)に餓死させ、源助は、幕府に象皮と牙2本を献上しています。

その牙1本は源助に下賜。牙は中野区2丁目の宝仙寺に奉納、しかし1945年のアメリカ東京空襲で焼失と、中野区の史跡「中野区教育委員会発行」の冊子に記載されています。

なお江戸名所図に「中野に象厩を建て、飼いおせられし」と、町民達の象見物で賑った象飼育の様子が【馴象論】【馴象俗談】書物や双六・玩具でも販売されたようです。

また、1816年(文化13年)オランダ商館長のヘンドリキ・ドーフが 将軍に象の献上を申し出たが「その儀に及ばず」と謝絶しています。

『昭34?・35?年、水道橋の後楽園遊園「木下サーカス」象が死亡で、三軒茶屋校舎解剖室で実習教材』往年の「記憶にありません」が内緒で「象肉は象煮でも固くて……」

12；余談～2 日本大学のシンボル文字の「絆」は

教授と、先輩と、学友と、後輩と、人と人とのしっかり結び付けるような素晴らしく美しい響きの音韻を「絆」もっています。

過日、日本経済新聞のコラムに、興味をそそる記述 立命館大学 大形 徹 教授(中国哲学)の記載がありましたので、本文のまま、未読者に紹介します。

「絆」とは、そもそも馬をつなぐひも。断とうにも断てないしがらみを指し、束縛する意味と指摘する。

さらに中国では、それが転じて「人をだます」という意味でつかわれているから驚きだ。

日本でも明治あたりまでは「家族の絆を断ち切る、出家する人が世の中とのしがらみを断つ」、という用法や意味でつかわれていた。

負のイメージが強い言葉が、いつの間にか変化したわけだ。3000年の歴史を持つ漢字は、今なお変化の途中かもしれないと述べています。

なお「絆・絆」を広辞苑辞書で索引；馬・犬・タカをつなぎとめる綱。「継」世の人々を結びつける綱。と記載されています。

12；余談～3

最近まで西洋獣医師の初来日は明治初期に来日したフランス陸軍獣医師アンゴーとされていますが、天正遣欧使節と共に獣医師や調教師・装蹄師が来日している事実をカトリック神父の手紙から判明しています。

吉宗在位時に、馬調教の派遣要請をオランダに申し入れ、調馬師のケイゼルは11年間で3度来日、西洋式馬術・調教法や飼育管理法を伝え、ケイゼルが献上した、西洋馬医学書や問答を御用方通詞の今村源右衛門が著した『西説伯樂必携』があります。しかし、西洋馬学の知識や技術は普及されていませんでした。

参考文献 1：文中に記載。 2：徳川将軍家人物総覧集；歴史読本。

拙文の史実記載や、誤脱字の誤りは、諸氏の寛容な心でお許しください。

「笑読、ありがとうございます」



■活躍する卒業生「神戸俊平先生」のご紹介

事務局長 岡林 堅(平成13年卒)

日本大学獣医学科の校友(角笛会会員)には、海外で活躍している方が多くいらっしゃいます。神戸俊平先生も、その一人、アフリカ(ケニア)で大活躍しています。今回は、神戸先生の活動を支援している「アフリカと神戸俊平友の会」のご協力をいただき、友の会が発行している『ナイロビ通信』の最新号を転載させていただきました。

■神戸 俊平先生 略歴

- 1946年 東京都港区生まれ、世田谷育ち
- 1969年 日本大学農獣医学部獣医学科卒業(獣医師免許取得)
福島県酪農協同組合勤務(3年間)
- 1971年 アフリカ大陸(ケニア)へ
- 1976年 ナイロビ大学大学院獣医学科マスターコース入学
修士論文「手術前後の細菌感染について」
日本人第1号のケニア獣医師
ナイロビ市内で獣医開業
- 1982年 第12回日本児童文芸新人賞「ほくとキキのアフリカ・サファリ」
- 1988年 日本大学農獣医学部 学部長賞受賞
- 1995年 平成7年度外務大臣国際交流賞
- 1997年 第9回毎日新聞社国際交流賞
- 2010年 長崎大学熱帯医学研究所ケニアプロジェクト拠点(ケニア, ナイロビ)にて
「眠り病」の研究(博士課程に入学)
- 2021年 在ケニア50年



今後も『ナイロビ通信』を読みたい方、神戸俊平先生の活動を支援したい方は、「アフリカと神戸俊平友の会」にご支援をお願いいたします。



『ナイロビ通信』。左からナイロビ通信No55-2018秋、No56-2019春、No57-2019秋



マサイの人々と神戸俊平。マサイの家畜診療がきっかけで「眠り病」の防疫の役に立とうと長崎大学博士課程に入学しました。



マサイの家畜の診療へ



アフリカと神戸俊平友の会

2023 春 通巻 N0.63



◀長崎大学熱帯病研究科でツエツエバエの研究を続けています。実験室の攪拌機で試薬を調合している作業中。

▼ナイロビ・ナショナルパークの枯れた湖や沼に給水車で水を供給。「アフリカと神戸俊平友の会」も協力した。



日本の皆様へ

今年に入り、ケニアも厳しい干ばつに見舞われました。ナイロビ市内にも牧畜マサイが牛を連れて道路わきの草を食わせに来ていました。ナイロビ近くには英国人入植者が残っていた1950年代の貯水池、ダムが残っていますが、どれも干上がったかその寸前でした。

「アフリカと神戸俊平友の会」でも12トンウォーターバウザー1台分の水を購入（6500ケニアシリング）し、ナイロビ・ナショナルパークの枯れた湖へ給

水の協力をしました。20台分の水が集まると、一つのダム・貯水池を潤すことができます。この1台分の値段はナイロビ市内での値段で、キリマンジャロ側の町キテンゲラで学校活動をするサイディアプラハ・荒川さんのところでは6000シリングだそうです。給水先には、水を求めるキリン・シマウマなどの草食獣が覗きに來ます。

3月16日、雨が降り、やっと雨期に入ったところからです。

神戸レポート Kambe report

FROM ケニア・ナイロビ

今年の大干ばつとナイロビ・ナショナルパークの野生動物



2023年1月、ケニア・ソマリア・スーダンは大干ばつの真っ只中でした。マサイマラのマサイからの連絡では、少し雨が降り、牛は大丈夫だろうとのことでした。が、毎週パトロールをしているナイロビ・ナショナルパークには、草食動物がたくさん移動して来ているのを見ました。キリマンジャロ方面から草・水を求めて来たのです。とくにヌーが多いのは、水を求めて国境から移動してきたからのようなのでした。シマウマやコンゴニより頭数が多いのです。ライオンがすでにシマウマを殺したのに再びヌーを殺して、でも食べなかったというまれな行動も見られました。

ナイロビ・ナショナルパークでは、ブルドーザーでくぼ地を作り、水をタンクに積んだトラックを雇いホースで放水し池にしました。ブルドーザー、井戸掘り、水代などがかかっています。それは公的機関KWSが行うのではなく、フレンドオブナイロビ・ナショナルパークなどの団体が行います。

2月も3月も厳しい乾季は続きました。ナイロビ・ナショナルパークへパトロールに行くと、サバンナにはライオンが肝臓や内臓を食い終え残した草食獣の腐敗臭がところどころに漂っていました。ライオンの草食獣狩り成功率は80%を越したようです。草食獣は草の枯れたキリマンジャロから遠距離を水や草を求めてさまい、涸れつつあるこの沼にやっとたどり着いたものの、少しの水が残ってるだけ。泥沼に足を取られ、骨折したりして動けなくなり、ライオンは一撃で倒すのです。水不足にともなう草食獣減、作物への影響、そして野火が心配されました。3月、給水した沼の水量を確かめに行くと、イボイノシシ、バブーン、ダチョウ、シマウマ、インパラ、ガゼル、コンゴニたちが水を飲みに来ていました。

▼水場で痩せて動けなくなったインパラを見つけた。



◀枯イオンは干ばつで弱った草食獣たちを狩り、食い散らかす。

▼枯れた湖に放水する。草食獣たちの水場になる。



イラストレーション=ヒサクニヒコ

活動報告

皆さまからのご支援に感謝いたします

(神戸俊平)

マサイ地域の家畜診療所は維持しています。新型コロナ感染症の発生時には、ケニアの国内も移動が禁止され、マサイ地域での活動ができなくなっていました。

この間、ナイロビの長崎大学熱帯医学研究所で「眠り病」研究を再開することができました。眠り病は、ツェツェバエ吸血内のトリパノソーマ原虫による感染症で、マサイの家畜、さらにマサイの生活に大きな被害をもたらしています。防疫の役に立とうと、長崎大学博士課程に入学して研究を開始してから10年以上が経ちます。

ツェツェバエはタンザニア国境沿い、マサイ地域を含む5か所(シンバヒルNP,アンボセリNP,ングルマン、マサイマラ保護区、ルマNP)で捕獲した約1万4千匹をランダム分けし、ツェツェバエに寄生するトリパノソーマをPCR検出しているところです。この研究は友の会活動費で始めることができました。感謝いたします。

さて、ケニアに数種生息するツェツェバエから抽出したDNAからトリパノソーマの種の同定をPCRにかけて行く、その同定最中に結果を汚染させ、ピペット・実験器具・試薬が原因なのか?一か月以上かかって汚染の原因を突き止め、再度、DNAを増幅機にかけ、染色したDNAを追跡しています。ケニアに存在するツェツェバエの同定、トリパノソーマの同定、吸血された血液の主の同定をこれからの予定にしております。

ナイロビのスラム・キコンパーで子どもたちへの給食



▲ナイロビ・ナショナルパークでパトロール活動(撮影:武田ちよこ 2022/3)

活動を継続しております。食材もウクライナ侵攻の影響で値上がりしています。炭で料理する場所は外です。子どもたちはプラスチックの食器等を持ってきて、それぞれ家に持って帰ったり、地べたで食べたりしています。

野生動物に関する活動では、ただ今、ナイロビ・ナショナルパークのパトロールを受けもっています。この3月中旬までの干ばつで草食獣が弱り果てていくところを若い未熟なライオンが狩りで食い散らしています。3月の雨までパトロール隊が乾草・水補給(10トン給水車1台分の水代を友の会から支援しました)で持ちこたえさせていました。(P2神戸レポート参照)



▲長崎大学熱帯医学研究所で「眠り病」研究



▲ナイロビのスラム・キコンパーで子どもたちへの給食活動

◎アフリカと神戸俊平友の会 2021年度、2022年度会計報告は、次号にまとめて掲載します

※ナイロビで足首骨折した時、急遽ケニアから松葉ツエで日本へ帰国しました。「同じような骨折で治療を受けたひとが、足が45度曲がって癒着した」とケニア人と日本人から脅かされ、ナイロビで手術する前日にケニア人が無理に私を退院させました。飛行機は帰国時だけファーストクラスを使いました。日本は新型コロナで大変な時で、やっと手術が終わって退院する寸前にコロナ院内感染でした。医療にかかった費用を友の会活動費で立替えていただき、退院するまで本当に助けられました。御礼を申し上げます。

※ワールドランナーズ様から、毎年定期的にケニアの子どもたちの給食サービスのサポートを受け取っています。いつもお世話になり、感謝します。

決定!「アースデイ東京2023」に参加します。 神戸俊平も帰国予定です!



4月15日(土曜日)・16日(日曜日)、代々木公園で開催される「アースデイ東京2023」に、「アフリカと神戸俊平友の会」の参加が決定いたしました。神戸俊平も参加に合わせて帰国予定です。ブース出展予定ですが、3月20日現在、詳細は未定です。

公式サイトをご参照ください。

<https://www.earthday-tokyo.org/earthday2023/yoyogi/>

「都立動物園 アフリカフェア」に参加いたしました。

2022年11月5～6日、東京都多摩動物公園で開催された「アフリカフェア」に参加。ブーステントでは、神戸俊平のケニアでの50年を紹介するナイロビ通信を紹介、東アフリカグッズの販売などで盛り上げました。園内では東アフリカの自然と動物をテーマにパネルディスカッションが開催され、客席の神戸俊平も最後に紹介されて挨拶する機会がありました。



◀東京都多摩動物公園アフリカフェアにて、神戸俊平と友の会会長ヒサクニヒコ

アフリカと神戸俊平友の会

今後とも神戸俊平の活動へのご支援を、どうぞよろしく願いいたします。

ご支援の金額は特に決めておりません。できる範囲での応援をお願いします。ご支援の皆様には「ナイロビ通信」(年2回発行予定)をお送りいたします。

振込先 アフリカと神戸俊平友の会

会長 ヒサクニヒコ

運営理事 神戸俊平

郵便振替 00190-9-665050 (同封の振込用紙をお使いください)

会計理事 久田雄治

理事 菅佐知男

理事 香月千秋

●ケニア事務所

P.O.Box 9549 00100 GPO Nairobi, Kenya

Tel +254 722767731

E-mail shimouma1chome@gmail.com

●日本事務所★移転しました!

〒231-0015 横浜市中区北仲通5-57-2

KITANAKA BRICK&WHITE BRICK SOUTH D2

P to P合同会社内(香月千秋)

Tel & Fax 045-225-8403 (変わりません)

E-mail ckatsuki_ptop@snow.plala.or.jp (変わりません)

●イベントの問合せ先(荻野康子)

E-mail kambe.s.tomonokai@gmail.com

携帯 070-3148-7111

(急用でなければ、平日は18時以降にお願いします)

<http://www.s-kambevot.org>

アフリカと神戸俊平友の会



日本大学生物資源科学部獣医学科教員

(敬称略 R5.4.1現在)

〒252-0880 神奈川県藤沢市亀井野1866
電話番号：0466-84-3800(代表)

獣医学科教員

浅野 和之
伊藤 琢也
枝村 一弥
越後谷裕介
大滝 忠利
大野真美子
岡林 堅
小川 健司

小熊 圭祐
片倉 文彦
壁谷 英則
北川 勝人
鯉江 洋
合屋征二郎
木庭 隼達
五味 浩司

近藤 広孝
佐藤 真伍
渋谷 久
瀬川 太雄
関 真美子
高橋 朋子
谷 浩由輝
遠矢 幸伸

中山 駿矢
成田 貴則
橋本 統
堀北 哲也
増田 絢
松本 淳
丸山 総一
森友 忠昭

安井 禎
山口 卓哉
山崎 純
山谷 吉樹
亘 敏弘

獣医保健看護学科

伊藤 大介
小澤真希子

坂井 学
阪本 裕美

住吉 俊亮
恒川 直樹

手島 健次
中山 智宏

福澤めぐみ
丸山 治彦

* 角笛会のホームページは随時、更新されております。角笛会関係の行事予定、支部同窓会からのお知らせ、また最新の角笛会報など多くの情報を発信しております。さらにホームページから新住所の登録もできます。是非、お立ち寄りください。



日本大学獣医学科Instagram
<https://www.instagram.com/nu.brs.vet.med/>



日本大学獣医学科X(旧Twitter)
<https://twitter.com/NUvetmed>



角笛会ホームページアドレス
<http://www.tsunobue.org/>

最先端の教育により獣医師を養成する学科
首都圏近郊で総合的な獣医学教育を実現
付属動物病院など充実した実習環境

高度・先端獣医

家畜の伝染病

エキゾチックアニマル

1. 付属動物病院など充実した実習環境：本学部の動物病院には、人の総合病院に匹敵する設備が揃っています。国内有数の検査室内診断・治療機器を備え、高度な検査が行われています。学生が実習を通して、最新の診断法・治療法を実践的な治療法を習得しています。診断に始まり、専門教員により行われる外科手術にも立ち会う中で、授業での学びを深く自分のものとすることができます。II. 首都圏近郊で総合的な獣医学教育を実現：首都圏近郊にあり、駅から3分の住宅街にある広大な湘南キャンパスには、動物病院だけでなく、牧場、博物館などの実習施設や研究施設が充実しています。このキャンパスにいなから、リニューアルした牧場や大動物実習施設で実習を受けることができるのも大きな強みです。また、令和5年からは同キャンパスに獣医保健看護学科も開設されます。愛玩動物看護師と連携し、より現場に即した実践的な学びが実現になります。III. 110年以上の歴史と同窓生の全国ネットワーク：獣医学

幸せな動物は、人も幸せにします。

小動物の医療

日本大学獣医学科ホームページアドレス
[http:// https://hp.brs.nihon-u.ac.jp/~NUBSvmd/](http://https://hp.brs.nihon-u.ac.jp/~NUBSvmd/)

編集後記

今年度は新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行に伴い、大学においても昨年度から再開された新入生歓迎研修会や学部祭に加え、4年ぶりに角笛会総会や日本大学獣医学会が対面にて開催され、コロナ禍前の様子を取り戻しつつあります。角笛会会報にご意見、ご希望がございましたら獣医産業動物臨床学研究室の大野(oono.mamiko@nihon-u.ac.jp)あるいは角笛会事務局(tsunobue3@gmail.com)までご連絡ください。今後とも、ご支援の程、よろしく申し上げます。
令和5年8月 大野 真美子(平成20年卒)